

外国人介護人材の訪問介護分野での 活用への課題と対策

今年度の4月から特定技能と技能実習の在留資格で働く外国人介護職員に訪問介護業務が認められました。しかし、訪問介護に従事するための知識・技術・コミュニケーション力の研修やサポート体制については課題がある状況です。

船津 元さん(社会保険労務士)とダフィット アルメン ムメクさん(インドネシア人介護福祉士)が訪問介護に従事する日本人介護職員や施設系サービスに従事する外国人介護職員にインタビュー調査を行い、「外国人介護人材の訪問介護分野での活用への課題と対策」について提言をされています。

今回のセミナーでは、おふたりのお話をうかがい、参加者と意見交換したいと考えています。



船津 元さん プロフィール

慶應義塾大学院(経営学修士)、日本社会事業大学院(社会福祉学博士)修了。医療・介護施設を中心に経営コンサルタント事業、登録支援機関として130名以上のインドネシア介護人材のお世話と現地で無料の日本語学校を運営している。

ダフィット アルメン ムメクさん プロフィール

高校卒業後技能実習生(鑄造)として3年間研修後、インドネシアへ帰国。ワハナバクティカリヤフサダ財団看護大学を卒業。

2021年、特定技能介護分野にて来日。2024年度介護福祉士資格を取得。日本語能力試験N1。



日時：2025年1月30日(金) 20:00～21:00

対象：介護福祉士会 会員(他道府県の会員も参加できます)
訪問介護事業 従事者・関係者

参加方法：ZOOMによるオンラインミーティング(参加費無料)

もうしこみ：<https://forms.gle/P9o5etviZ5BbioHU8>

(1月28日までに、もうしこみしてください)



といあわせ：東京都介護福祉士会 国際事業委員会
kuramotokoji@gmail.com 蔵本